

## 会員研修・ビジネス委員会 基本方針（案）

会員研修・ビジネス委員会 委員長 松尾 陽介

1 昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、一般社団法人佐賀青年会議所の活動のみならず、各メンバーの仕事や生活にも様々な影響を及ぼしています。ニューノーマルといわれる生活様式の変化は、今まで緩やかだったテレワーク、新しいデジタルツール等の活用を急速に発展させました。このような社会情勢の中、佐賀青年会議所は人財の確保のみならず、メンバーの資質向上を目指し、他団体と協働することで、時代の変化に合わせた事業の形を創り出す必要があります。

7 まずは、今後の佐賀青年会議所を担う人財を確保し、会員拡大に繋げていくために、当  
8 委員会が候補者の情報を収集し体制を整え、メンバー一人一人が拡大意識をもって行動で  
9 きる組織づくりを行います。そして、仮会員の参加意欲や絆を高めるために、研修において  
10 コミュニケーションの場を設けて、仮会員同士の繋がりづくりをサポートすることで、  
11 正会員後も積極的に活動に参加できる環境づくりを行います。さらに、新型コロナウイル  
12 ス感染症の状況下においても会員同士の友情を育むために、仮会員と正会員との交流の場  
13 を設け、相互理解を促進し、今後に繋がる信頼関係を築き上げます。また、昨今の社会情  
14 勢の変化に対応したビジネスに活用するために、時代に合ったセミナーや講演を行い、メ  
15 ナーの青年経済人としての意識向上・資質向上となる機会を創出します。そして、新型  
16 コロナウイルス感染症の影響下においても、地域活動を継続し佐賀を盛り上げていくため  
17 に、時代に即したデジタルツール等を活用し自分たちの事業でも活用することで、他団体  
18 に積極的に関わることを模索し新たな地域づくりを提案します。

19 大きな転換期を迎えた今、佐賀青年会議所だからこそできる挑戦をし、魅力を高め、時  
20 代に合わせた人財づくりを行うとともに、これまで以上に地域振興の取り組みを継続し、  
21 現在（いま）を生き抜き次代へつなぐで参ります。

22

### 23 [事業計画]

- 24 1. 新入会員並びに会員研修の企画・運営（通年）
- 25 2. ビジネス事業の企画・運営（7月）
- 26 3. 例会の企画・運営（4月・11月）
- 27 4. 厄入厄晴の企画・運営（2月）
- 28 5. シニア交流事業の企画・運営（7月）
- 29 6. サマーコンファレンス参加者への支援（7月）
- 30 7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）